

令和4年(2022年)6月17日(金曜日)

「社会情勢とかい離なし」再開発工事費 三島市議会答弁

三島市は16日、三島
駅南口東街区に広域健
康医療拠点やマンショ

ンなどを建設する再開
発事業で、3月に選定
した設計、施工を担う
事業者が現状の事業計
画と近い金額の工事費
を提示したことを明ら
かにし、ロシアのウク
ライナ侵攻が続く中で
も「計画の工事費と社
会経済情勢に大幅なか
い離はない」との見解
を示した。同日の市議
会6月定例会で、古長
谷稔氏(無党派)の一
般質問に答えた。

市計画まちづくり部
はウクライナ情勢によ
る建築資材の高騰を懸
念する声に対して「工
事費が大幅に増加した

場合、そのまま事業を
進めることにはならな
い」とし、事業収支が
確保できるよう施設計
画を見直す可能性を示
した。3月中旬にピア
リングを行った事業者
も「工事費が高止まり
した時は工事の効率化
を検討する」との考え
で、事業費の上昇を最
大限抑える努力を事業
関係者で続けていく意
向を説明した。施設の
導入機能については利
用者の多様なニーズに
応えるため「構成はさ
まざまなパターンがあ
る」とし、市議会の了
承を得る機会が「予算

審議などについて判断した
だ」と述べた。

同日はこのほか、大
石一太郎(改革みし
ま)、堀江和雄(公明)、
中村仁(緑水会)の各
氏が登壇した。